



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

木佐木 ただまさ

日本共産党
見解を紹介します
news

Profile
・1984年山口県出身
・鶴見区馬場在住・神奈川大
学法学部卒・横浜健康友の
会会長・横浜東民商顧問

桜木町駅前の大演説会

5000人（ネット含む）が参加

3月19日、桜木町駅前で日本共産党演説会が行われ、志位和夫委員長、あさか由香参院神奈川予定候補が訴えました。横浜上野町教会牧師の柴田智悦さんから反戦平和の連帯スピーチをいただきました。ネット視聴含め約5000人が参加しました。

政治の責任で、すべての人が安心して生活できる社会保障の構築を

…あさか由香さん

あさか由香参院神奈川予定候補は、2016年から訴えてきた「8時間働けばふつうに暮らせる社会」というスローガンは「長時間労働の規制、中小企業支援を強めて残業しなくても生活できる賃金を保障する、安定雇用を増やすこと、子育て介護、障がいや病気などで働くことができない場合でも全ての人安心して生活できる社会保障を充実させる」ことを求めるもので、それは政府の責任であることを訴えました。

コロナ禍で様々な不安を感じながら第3子を出産し、改めて「千差万別の人の生活を、尊い一日一日の暮らしを何よりも大切に政治を変えたいと思う」と立候補の決意を語りました。

気候危機打開は経済も強くする 国際世論の力で戦争をやめさせよう

…志位和夫委員長

志位委員長は、神奈川県下の問題として気候危機打開に関わって、石炭火力の問題を指摘しました。横須賀市で建設中の二つの石炭火力発電所が排出する二酸化炭素は年間729万トンに上り、「横浜・川崎・相模原——3政令市と三浦半島を杉林にして吸収してもまだ足りないほどです」と告発しました。「2030年までに石炭火力ゼロ、原発は即時ゼロ、大規模な省エネ・再エネを普及することが、日本経済を強く



19日、志位和夫委員長（左）とあさか由香さん（右）

するうえでも大きな力になります」と気候危機を打開し持続可能な社会への展望を語りました。

ロシアによるウクライナ侵略について、過去最高の141カ国の賛成で非難決議が採択されたと指摘し、「やっぱり歴史は進歩しています。ここに確信を持ち国際世論を広げ、プーチン政権を包囲しましょう」と訴えました。

鶴見駅でロシア侵略抗議と募金宣伝

3月20日、鶴見駅東口でウクライナ支援鶴見区実行委員会の呼びかけでウクライナ支援募金と憲法を守り活かす署名、ロシアの侵略に抗議する宣伝が行われ、私も古谷市議と参加しました。延べ38人の方が宣伝に参加され約2時間で4.3万円の募金が集まりました。預かった募金はユニセフを通じてウクライナ支援に充てられる予定です。



20日、鶴見駅東口の宣伝